

『目標設定合宿』 DORAMANE Bootcamp

セミナー名称	目標設定合宿 DORAMANE Bootcamp（ドラマネブートキャンプ）
対象者	ドラマネ参加企業 あるいは、 参加を検討している企業の対象社員と社長 ※役員含む
セミナー実施の背景	<p>私たちが考える理想的な企業は、『社員一人ひとりがイキイキと働き、同時に、会社が成長し続けている』状態です。そのため、理想的な企業への変革を目指し、14年間実施してきた「DORAMANE 勉強会（アクションミーティング）」において、最も大切にしていることは、最初の『目標設定』です。</p> <p>DORAMANE Bootcamp は、企業トップ（経営者）と参加メンバー（幹部や社員）が、共に会社の「あるべき姿」を定義し、「今の会社の課題」を整理した上で、その課題を解決するための「根本的な原因は何か」について明確化し、解決策を考えるとところから始めます。</p> <p>また、参加企業間の異業種交流による創発の場としても活用すると共に、今後のドラマネ参加検討企業に向けた、目標設定セミナーとしての位置づけにもなっています。</p>
参加者の条件	<p>本研修に参加するチームは、下記の条件を満たしていることが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営トップ（経営者）とリーダーと一緒に参加できること。（参加メンバーは5名迄可） ・相互支援に賛同すること
本合宿のゴール	<p>本合宿では、目標達成に向けた思考法を整理すると共に、下記アウトプットを作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社（自組織）のあるべき姿を定義した資料。 ・自社の達成目標を具体的に定義した資料。 ・目標達成に向けた実行計画を作成するための情報を整理した資料。 <p>※本合宿ではドラマネ CS-PAM^{※1}を使ったドラマネ企業課題分析を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加メンバーと社長間の MVV^{※2}等の確認と合意 ・ロジックツリーで問題の原因を展開、根本的な原因を発見、解決策の立案 ・参加チームのどらまね目標（達成目標）の設定 <p>※1 ドラマネ CS-PAM : Company-Specific Problem Analysis Method ドラマネ企業課題分析手法</p> <p>※2 MVV : ミッション・ビジョン・バリュー</p>
修了条件の判定基準	特になし（参加後に目標達成にむけた実行計画作成と実行に取り組みます）

<p>参加にあたって (事前作業)</p>	<p>合宿参加にあたっては、事前に下記の作業を実施して頂きます。</p> <p>(1) あるべき姿の設定 何年後かの会社のありべき姿を考える（短期レンジ・長期レンジ問いません）</p> <p>(2) ギャップの洗い出し その「あるべき姿」と「現状」のギャップを洗い出し、ギャップが発生する原因を 30 個以上考える</p> <p>(3) あるべき姿の具体化 その「あるべき姿」になった時、会社がどのような状態になっているか。具体的にたくさん書き出す</p> <p>上記参加にあたっての事前作業の結果は、初日に各社から発表して頂きます。 発表に向けた資料（PPT、紙資料など形態は自由）を事前に作成をお願いします。</p>
<p>プログラム</p>	<p>2 日間の合宿にて、自社のありべき姿と、ありべき姿に向けた課題を定義し、今後の活動目標を明確にします。2 日間の合宿は下記スケジュールで実施します。</p> <p>□第 1 日目：自社のありべき姿の定義</p> <p>(1) 事前課題内容の発表 & フィードバック ・自社のありべき姿と現状（発表内容は A 4 用紙に手書きで作成）</p> <p>(2) 全体フィードバックと見直しの視点</p> <p>(3) 事前課題見直しワーク</p> <p>(4) 見直し内容発表 & フィードバック</p> <p>(5) 全体フィードバックと課題の提示 ※翌日開始まで各チームで課題ワークの実施</p> <p>□第 2 日目：達成目標の定義</p> <p>(6) チーム課題と目標発表</p> <p>(7) 全体フィードバックと視点共有</p> <p>(8) 自社のありべき姿の再定義と目標設定ワーク</p> <p>(9) 最終成果発表と「目標達成宣言」</p> <p>(10) 全体リフレクション ※修了後懇親会を実施（懇親会はリフレクションの場を兼ねます）</p>
<p>対象者の人数</p>	<p>□2～8名/チーム（経営トップ+チームリーダー他）（6社程度）</p>

<p>運営方法</p>	<p>合宿セミナーは参加者間の相互支援を基本とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前課題があります。 事前作業を作成し、5月23日（土）までにご提出ください。 ・合宿セミナーはディスカッションとフィードバックが主体になります。 自ら主体的に考え・行動することを目指します。 ・事後課題があります。 セミナー参加後は、目標達成に向けた実行計画を作成し、目標達成を宣言します。
<p>実施時期</p>	<p>【セミナー会場】 御殿場高原 時之栖 〒412-0033 静岡県御殿場市御神山 719 研修会場から出ている JR 三島駅との送迎バスがあります。</p> <p>◆日程 2026年5月29日（金）～30日（土）</p>
<p>参加費用</p>	<p>¥ 15万円（税別） / 社 ※合宿のため宿泊費（一部食費）は参加人数分を別途負担して頂きます ※合宿参加後、7月からのどらまね勉強会（第15期どらまね）に申込みを頂いた際は、合宿代（15万円）を差し引いた額を請求させていただきます</p> <p>◆宿泊費・食費（別途ご請求）につきまして ¥ 22,500円（税込） / 人 ※含まれるもの：29日宿泊費・30日の食事（朝食・昼食・懇親会費） ※含まれないもの：29日の食事（昼食・夕食）、現地までの旅費交通費、ご自身で購入されたもの</p>
<p>活用ツール （案）</p>	<p>本プログラムにおいて活用を検討するフレームワーク/ツール （下記は現在検討中のフレームワーク/ツールです。実際の合宿セミナーでは、状況に応じて個別作業への適用を検討します）</p> <p><input type="checkbox"/> ケブナートリゴ法（ラショナル・プロセス） 4つの思考プロセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況把握と明確化 何が起きているのか？（状況をはっきりさせる） ・原因と結果 どうしてそうなったのか？（因果律について思考する） ・選択する どういう処置をとればよいのか？（何らかの選択をする） ・将来の予測 将来どんなことが起こりそうか？（将来に目を向ける） <p>その他下記のフレームワーク/ツールも検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 『経営者に贈る5つの質問』 P.F.ドラッカー <input type="checkbox"/> MVV：ミッション・ビジョン・バリュー <input type="checkbox"/> ロジックツリー <p>等々</p>

その他

【活用検討フレームワーク/ツールの目的と内容】

ラショナル・プロセスに基づく、課題解決

- ・状況把握（状況分析）
状況の認識、明確化、分離、複雑な状況の管理可能な要素への細分化
- ・問題分析（原因究明）
原因・結果型の思考パターン
- ・決定分析（選択決定）
意思決定理由の分析とその目的の検討、選択肢の相対的リスク分析
- ・潜在的問題分析
トラブルの予見と予防処置
※上記の活動による選択的で機能的な（必要な時にもっとも生産的になる）
チームワークの形成を目指す

□『経営者に贈る5つの質問』 P.F.ドラッカー

- ・われわれのミッションは何か？
- ・われわれの顧客は誰か？
- ・顧客にとっての価値は何か？
- ・われわれにとっての成果は何か？
- ・われわれの計画は何か？
※ドラッカーは「組織はすべて、人と社会をより良いものにするために存在する。すなわち
ミッションがある。目的があり、存在理由がある」と言っている。
※会社のあるべき姿を導き出すために本質問のワークシートを利用する。

□MVV：ミッション・ビジョン・バリュー

- ・ミッション：会社の存在理由、目指しているもの
- ・ビジョン：会社のありたい姿、中長期的な目標
- ・バリュー：価値基準、行動指針
※言葉の定義を明確にし、共有することを目的にします。
目指すべき目標（ミッション）に向かって、適切な装備や手段（バリュー）で
その時に最適なルート（ビジョン）を登る山登りのようなものと考えます。